

本マニュアルは、Space Player(2000 lmタイプ)を簡単にセットアップできるように制作したものです。ここでは動画ファイルをSDカードを使って投映する方法をご紹介します。

●用意するもの

同梱されているもの

- ①Space Player本体
- ②ストラップ
- ③ワイヤー引掛け金具
- ④アダプターカバー
- ⑤六角レンチ
- ⑥リモコン

ご準備いただくもの

- ⑦木ねじ
- ⑧SDカード

※設置は2名で実地してください。

step 1 SDカードの準備

パソコン等を使い、使用する動画ファイルをSDカードに保存します。

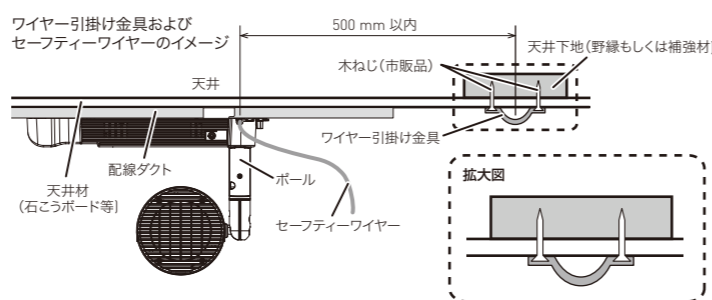
●本機で使えるメモリーカード
(クラス10を推奨)

SDHCメモリーカード
(4/8/16/32GB)

step 2 本体の設置 (配線ダクト取付型)

①セーフティーワイヤーを取り付けるためのワイヤー引掛け金具を取り付けます。

- 本機のポール中心から500mm以内で天井下地(野縁もしくは補強材)のある位置にワイヤー引掛け金具を取り付けてください。
- 下地のある所は、市販されている下地探しの器具で探せます。
- ワイヤー引掛け金具は、呼び径3.8mmの木ねじ(市販品)を使用してください。
- 木ねじは、下地の20mm以上貫通させてください。



②本体を配線ダクトに取り付けます。

1) レバーA/Bのある側を、配線ダクトの突起がある側と反対に位置するように設置します。

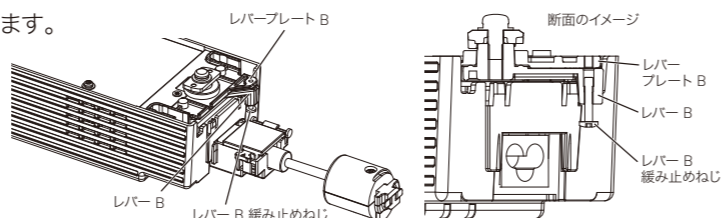


※本機の取り付け/取り外しは、配線ダクトの電源を切ってから行ってください。

ポイント!
必ず上図のレバーAを先に操作してください。

2) レバーB緩み止めねじを固定します。

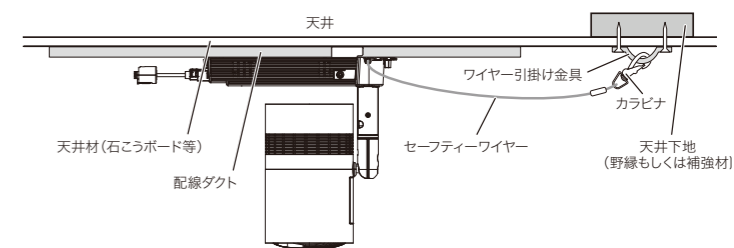
- レバーBの緩み止めねじ(M3)をプラスドライバー JIS 2番(直径6mm)で締め付け、レバープレートBに固定してください。



step 2 本体の設置

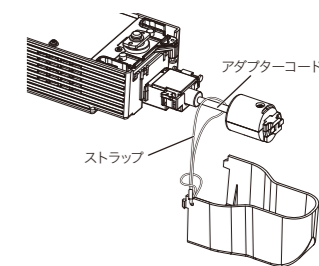
3) セーフティーワイヤーの先端をワイヤー引掛け金具に引掛けます。

- あらかじめ天井に取り付けたワイヤー引掛け金具に、セーフティーワイヤー先端のカラビナを引掛けてください。



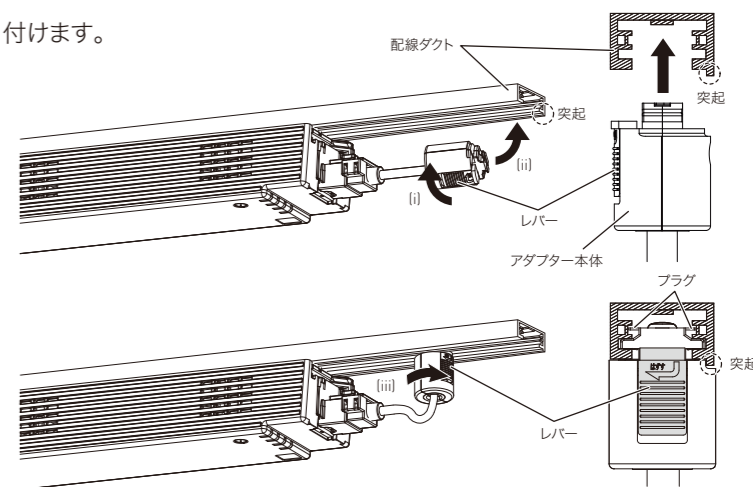
4) アダプターカバーのストラップをアダプターコードに引掛けます。

- あらかじめ付属のアダプターカバーに取り付けておいたストラップを、右図のようにアダプターコードに引掛けます。
- ストラップは、アダプターカバーが外れ落ちることを防止するためのものです。必ずアダプターコードに引掛けた状態でご使用ください。



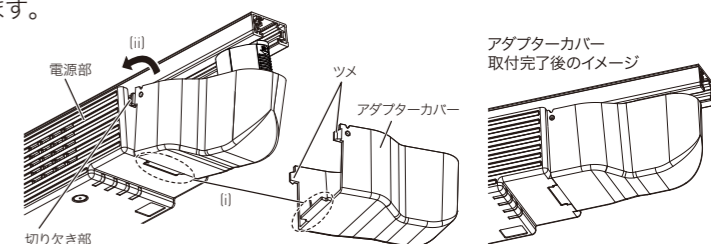
③アダプターを配線ダクトに取り付けます。

- アダプターを配線ダクトの突起に合わせて配線ダクトの開口に差し込んでください。
- アダプター本体部を配線ダクトに押し付けながら、「カチッ」と音がするまで時計方向に90度回してください。逆取付(逆回転)はできません。
- 配線ダクトを天井または梁に固定しているタッピングねじの位置に、本機のアダプターを取り付けることはできません。



④アダプターカバーを取り付けます。

- アダプターカバー下側中央の凸部を電源部の凹部に合わせながら(i)、アダプターカバー上側左右のツメを電源部の切り欠き部にきちんと引っ掛かるまで押し込んでください(ii)。このとき、アダプターカバーでストラップを挟み込まないようにしてください。



step 3 SDカードを入れる

裏面 step 4 へつづく



カードの表を上にして、角が欠けた方からSDカードスロットにしっかりと挿し込みます。

※SDカードの抜き差しは、スペースプレーヤー本体の電源を切った状態で行ってください。

step 4 電源を入れる



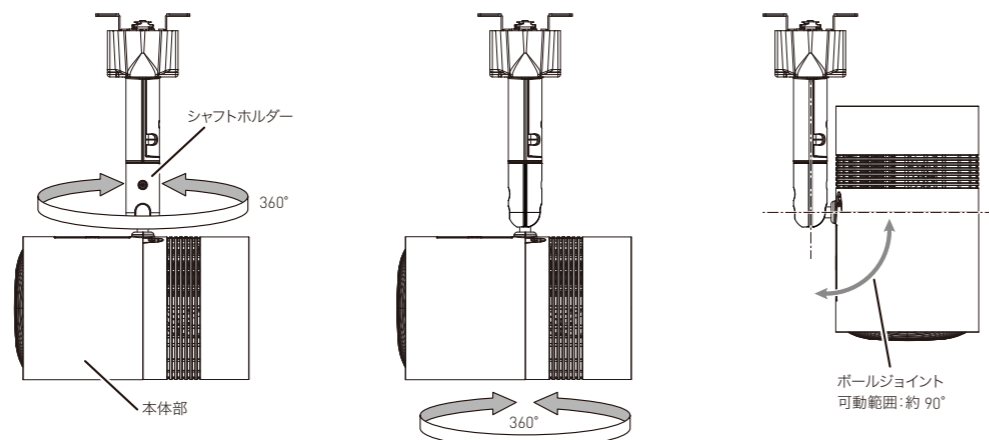
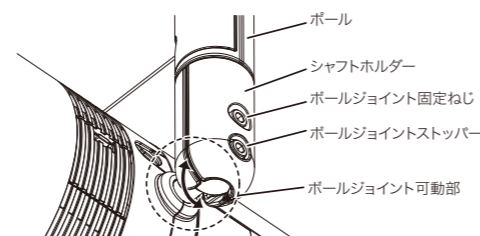
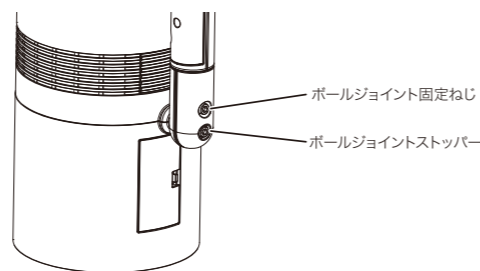
- ①配線ダクトの電源を入れます。
→インジケータが**赤色**に点灯。
- ②本体もしくはリモコンの電源ボタンを押します。
→インジケータが**緑色**に点灯。

※ここからは、投映した画面を見ながら設定してください。

投写位置を調整します。
本機を配線ダクトへ取り付け後、本体部の向きを調整して投写位置を定めます。

- ①ボールジョイント固定ねじを緩めます。
 - ボールジョイント固定ねじを付属の六角レンチ(対辺サイズ5.0mm)で緩めてください。

- ②本体部の向きを調整します。
 - シャフトホルダーを回して、ボールジョイント可動部を本体部を傾けたい方向に合わせたうえで、本体部の向きを調整してください。



ボールジョイント固定ねじを緩めると、シャフトホルダーを360°回転することができます。シャフトホルダーを回して本体部を傾けたい方向に、ボールジョイント可動部を向けます。

ボールジョイントストッパーを取り外すと、ボールジョイントを自由に動かすことができます。本体部を360°回転させることや、ボールジョイント可動部で本体部を90°傾けることができます。

- ③ボールジョイント固定ねじを締め付けます。
 - 本体部を支えながら、ボールジョイント固定ねじを付属の六角レンチ(対辺サイズ5.0mm)でしっかりと締め付けてください。

ポイント!
ポートレートモード(縦型投映)などの設定の際は、ボールジョイントストッパーを取り外してください。(取り外した後は大切に保管してください)

step 6 映像の調整

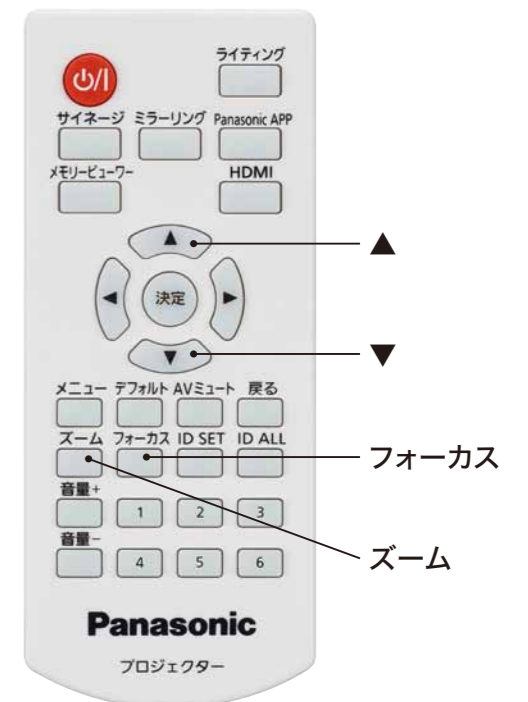
※ここからは、投映した画面を見ながら、リモコンで操作をしてください。

- ①【ズーム】ボタンを押して、投写サイズを【▲▼】ボタンで調整します。
- ②【フォーカス】ボタンを押してフォーカスを【▲▼】ボタンであわせませす。
- ③【メニュー】→【セットアップ】→【台形補正】→【水平垂直補正】もしくは【コーナー補正】を選択し台形ひずみを補正します。

ポイント!

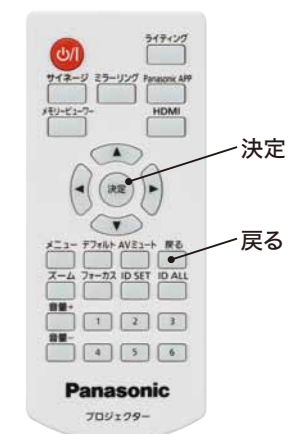
【水平垂直補正】または【コーナー補正】を調整後にもう一方の調整を行うと、元の調整値はリセットされます。

- ④ズーム、台形補正の調整によりフォーカスがなくなることがありますので、再度フォーカスをあわせませす。



メモリービューワー画面からファイルを選択し【決定】ボタンを押すと、動画が再生されます。また、再生中に【戻る】ボタンを押すと、動画の再生を停止しメモリービューワー画面に戻ります。

step 7 動画を再生する



ポイント!

再生中に【決定】ボタンを押すと、再生を一時停止します。もう一度押すと、停止した位置から再生を再開します。

ポイント!

一つの動画ファイルだけを繰り返し(リピート)再生する場合は、フォルダの中にそのファイルだけを入れておきます。